



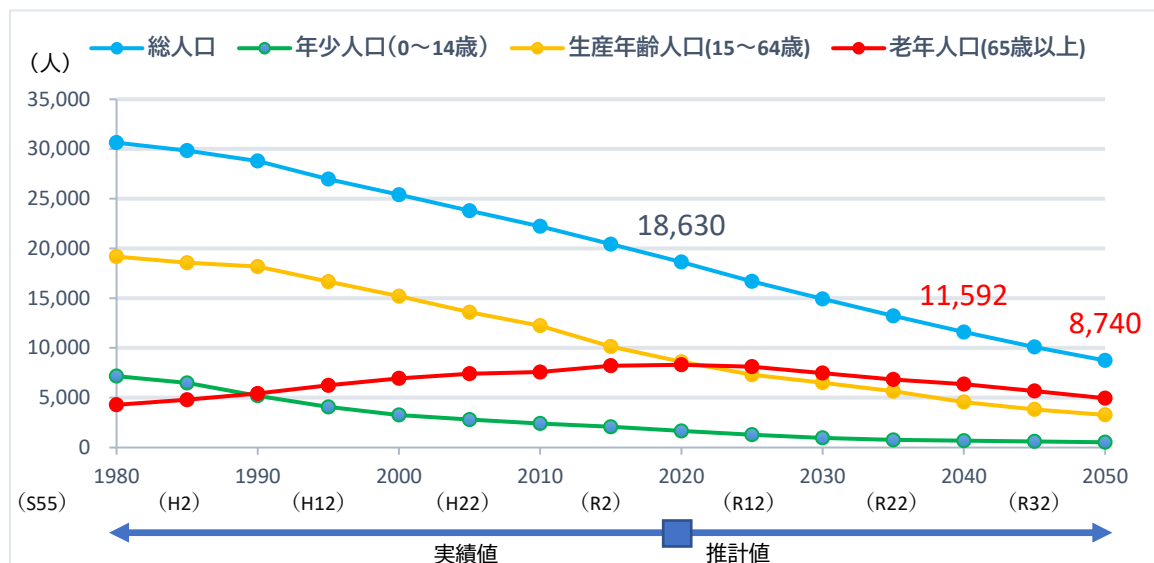
(改訂版)
志賀町人口ビジョン
令和 8 年 3 月



(1) 将来人口の推計

国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という）では、2020 年の国勢調査の結果を基に 2050 年までの 5 年ごと 30 年間にわたる将来人口を推計しており、本町の人口は、2040 年には 11,592 人、2050 年には 8,740 人まで減少するものと推計している。この結果は、前回の人口ビジョン改訂時における社人研の推計値を上回っており、当初よりも人口減少が加速していくと予測している。さらには、令和 6 年能登半島地震の影響により、人口流出に歯止めが掛からず、より厳しい実績値となることも予測されている。

図表 志賀町の人口推計



出典：国勢調査・人口動態調査・社人研「日本の地域別将来推計人口」

2020 年までは国勢調査結果に基づく実績値

2025 年以降は社人研のデータ（2023 年 12 月公表）に基づく推計値

図表 将来人口の推計値の比較

	単位 (人)					
	2025 年 (R7 年)	2030 年 (R12 年)	2035 年 (R17 年)	2040 年 (R22 年)	2045 年 (R27 年)	2050 年 (R32 年)
今回推計値	16,685	14,927	13,222	11,592	10,088	8,740
前回推計値	17,001	15,314	13,649	12,014	10,523	9,224
推計値増減	△316	△387	△427	△422	△435	△484

出典：社人研「日本の地域別将来推計人口」

(2) 前回の人口ビジョンにおける目標人口

2020年に改訂した前回の人口ビジョンでは、以下の目標人口の考え方を設定し、将来人口の目標値を算出している。これを基に、2040年の目標人口を約14,000人、2060年の目標人口を約9,800人としている。

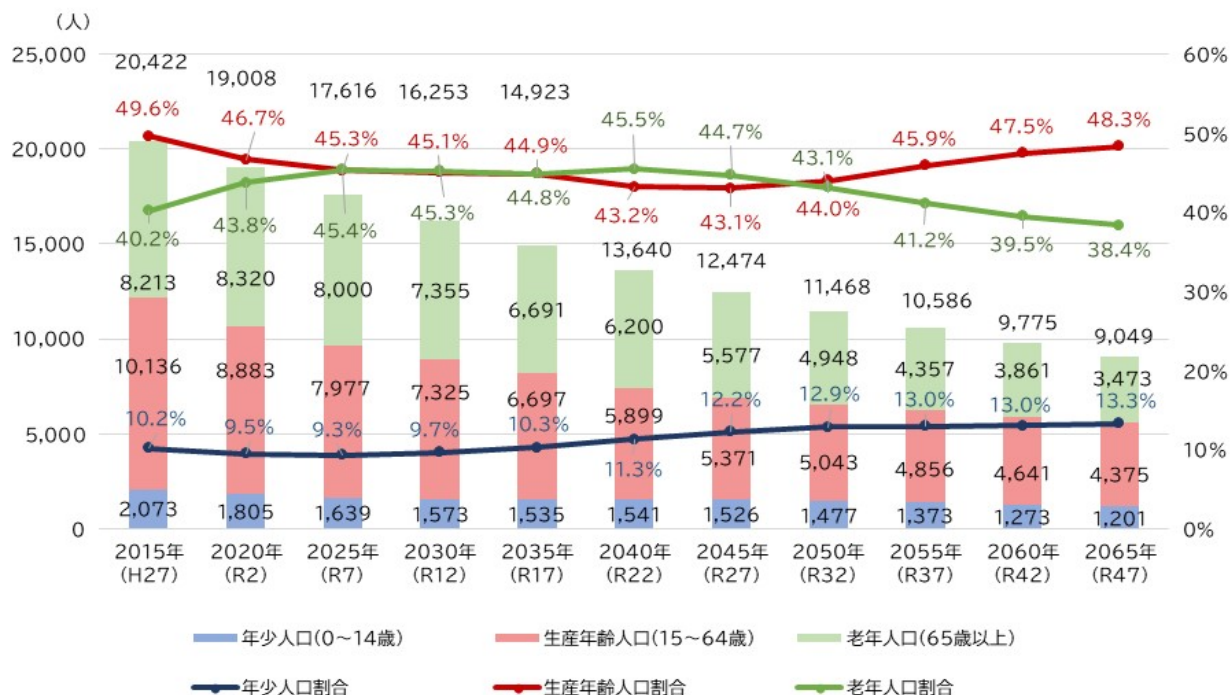
人口ビジョンの目標人口（令和2年3月改訂版）

- 2040年（令和22年）：約14,000人
- 2060年（令和42年）：約9,800人

目標人口の考え方

- 結婚・出産・子育ての環境を整え、合計特殊出生率を向上
 - 合計特殊出生率を2040年までに2.07を達成します。
(参考値 全国1.33 石川県1.44 志賀町1.45)
- 子育て環境の整備、安定した雇用の創出、安心な暮らしを提供し、転出を抑制
 - 転出超過の年齢層について、転出超過率を3分の2に減らします。
- 新しい人の流れをつくり、転入を促進
 - 転入率が比較的高い20代から30代の若者・ファミリー世代、シニア世代を主なターゲットにします。

図表 上記設定による志賀町の人口推移（将来人口目標値）



(3) 目標人口の検討

将来人口目標値において設定した 2020 年の目標値と 2020 年の国勢調査結果（実績値）を比較すると、総人口では目標値に対して 378 人の差が生じている。

2020 年の国勢調査結果を踏まえ、前回の人口ビジョンの目標人口の考え方の「合計特殊出生率を 2040 年までに 2.07」「転出超過の年齢層について、転出超過率を 3 分の 2 に減らす」を踏襲した場合の人口推移は、**2040 年では約 12,700 人**となる見込みである。

2040 年の目標人口の 14,000 人を達成するためには「合計特殊出生率を **2035 年までに 2.07**」「転出超過率を **2 分の 1**」とし、さらに「転入超過の年齢層について、**転入超過率を 2 倍**」とする必要がある。

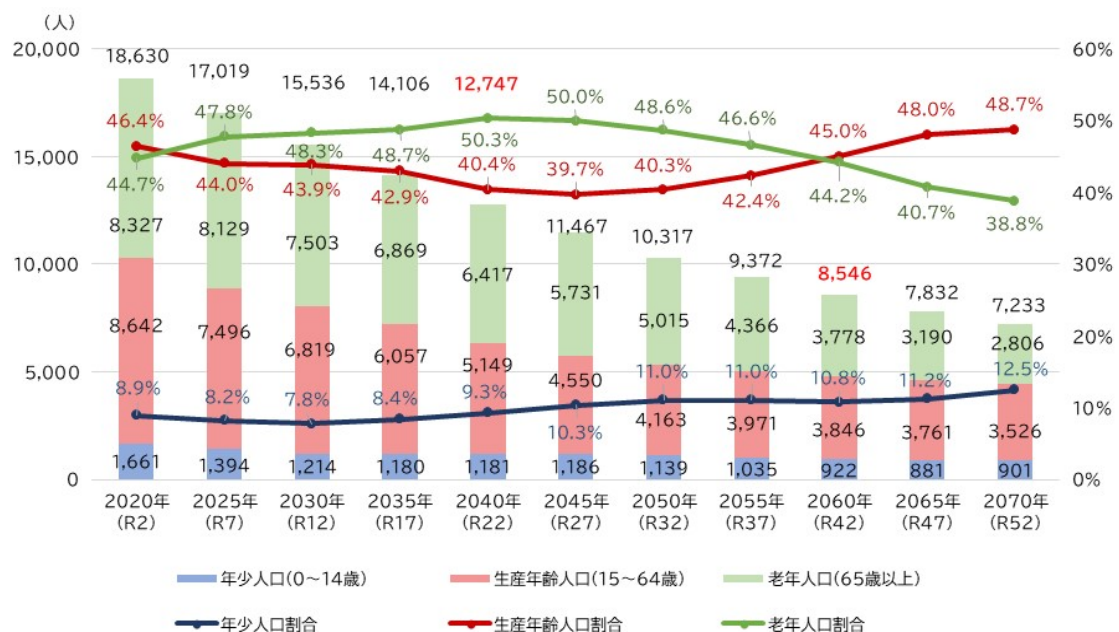
震災の影響により人口流出が進む中、近年の合計特殊出生率や転入・転出超過率の状況を踏まえ、より現実的な目標人口を設定し、町の実情に即した地方創生に取り組む必要があると考える。

図表 将来人口目標値と国勢調査結果の比較（2020 年）

単位（人）

	総人口	年少人口 (0～14 歳)	生産年齢人口 (15～64 歳)	老年人口 (65 歳以上)
2020 年 (R2 年) 将来人口目標値	19,008	1,805	8,883	8,320
2020 年 (R2 年) 国勢調査結果	18,630	1,661	8,642	8,327
比較増減	△378	△144	△241	7

図表 2020 年国勢調査結果を踏まえた志賀町の人口推移（将来人口目標値）



(4) 人口ビジョンの目標

人口ビジョンの改訂にあたり、転出超過の一層の抑制、また、20代から30代にかけての転入者数の増加を推進することとし、以下の考え方及び目標を設定する。

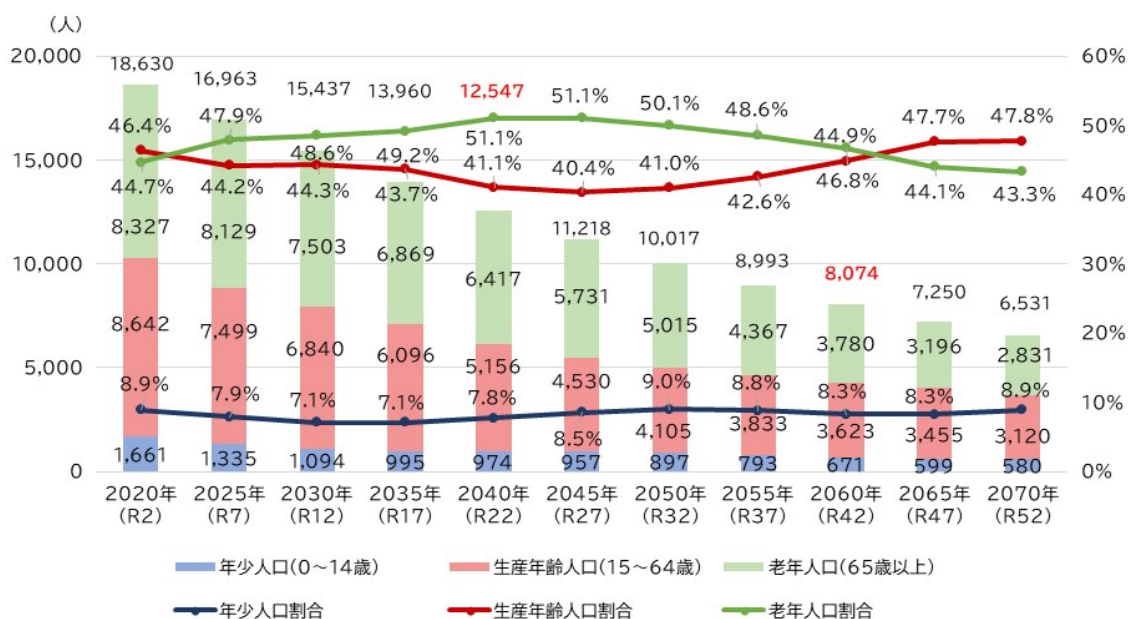
人口ビジョンの目標人口（令和8年3月改訂版）

- 2040年（令和22年）：約12,600人
- 2060年（令和42年）：約8,100人

目標人口の考え方

- 現実的な目標人口を見据え結婚・出産・子育ての環境を整え、合計特殊出生率を向上
 - ・ 合計特殊出生率を **2040年までに1.60**を達成します。
(参考値 能登地域の出生率上位3市町 かほく市1.67 能登町1.61 中能登町1.59)
- 子育て環境の整備、安定した雇用の創出、安心な暮らしを提供し、転出を抑制
 - ・ 転出超過の年齢層について、転出超過率を **3分の2**に減らします。
- 新たな人の流れを創出し、関係人口の拡大を図ることで、移住定住を促進
 - ・ 転入率が比較的高い20代から30代の若者・ファミリー世代、シニア世代を主なターゲットにします。
 - ・ 地域との多様な関わりを持つ人々を増やし、定住や転入の促進につなげます。

図表 上記設定による志賀町の人口推移（将来人口目標値）





志賀町